

問 エコプランの民間への啓発は

答 市民全体に意義を啓発している



板倉 克典 議員

日本共産党弥富市議団

○やとみ・エコオフィスプラン2030について以下を問う。

問 グリーン購入法に基づいた環境商品の目安は。

答〔環境課長〕 エコマークが付いている商品がグリーン購入法に適合している。

問 グリーン購入法に基づいて調達した商品を把握しているか。

答 58種類の消耗品は一括して単価契約を結んでいる。購入は各部署単位で行っているため、実績は各部署で把握している。

問 環境商品調達の方針は職員に浸透しているか。

答 職員一人ひとりが意識して取り組むよう、周知している。

問 政府が進める運動「クールチョイス」（賢い

選択）と、どう連動しているか。

答 共通の目標に向かう取組であり、低炭素で災害に強い「やとみエコオフィス」を実現できるように進めている。

問 市内民間業者への啓発活動は。

答 市民全体に向けてホームページ等で温室効果ガス削減の意義を啓発している。



問 行政施設CO₂削減目標達成は

答 市民と共に取り組んでいく

問 日の出小学校、弥富中学校は、児童生徒数の割合以上にCO₂排出量が多いが、なぜか。

答〔学校教育課長〕 規模が大きいため、消費電力は他校に比べ多くなっている。照明のLED化を進めている。

問 平成25年を基準に、令和12年にCO₂を40%削減目標であるが、令和6年の中間目標CO₂の20%削減は達成できるか。

答 本庁舎に計画はないが、他施設の日照環境によつては設置している。

問 太陽光発電の導入と活用の状況は。

答 白鳥保育所や日の出小学校などで、太陽光発電設備を設置している。



▲グリーンカーテン

答〔環境課長〕 順調に進んでいる。

問 植物で直射日光を遮るグリーンカーテンの計画は。

答 取得を目指す、「エコオフィスプラン」の取組を推進していく。

問 市が掲げるCO₂削減目標の達成に向けた決意は。

答〔副市長〕 施設の再配置を進め、再生可能エネルギーの活用に配慮し市民と共に取り組む。



▲市庁舎 太陽光パネル